第87期 株主通信

2023年4月1日▶▶2024年3月31日

高める、つくる、そして、支える。

KUMAGAI 熊谷組

株主の皆様へ

ごあいさつ

平素は格別のご高配を賜りありがたく厚くお礼申しあげます。

ここに第87期(2023年４月１日から2024年３月31日まで)の事業の概況についてご報告申しあげます。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申しあげます。

2024年７月

取締役社長　上田　真

当期の業績

当連結会計年度における我が国経済は、世界的な金融引締めの動きにより不透明感が残りましたが、経済活動が正常化に向かい、雇用･所得環境も改善する中で、設備投資や個人消費にも持ち直しの動きがみられるなど、景気は緩やかに回復が進みました。

建設業界におきましては、建設コストの上昇の影響を受け住宅投資は弱含んでおり、民間企業の建設投資にも伸び悩みがみられたものの、公共投資は関連予算の執行により堅調に推移し、総じて受注環境は底堅く推移しました。しかし、資材費や労務費の上昇もあり、採算面では一部に厳しさが残りました。

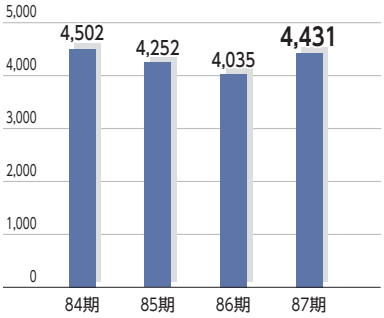
このような経営環境のもと、当社グループは2021年5月に策定した①建設請負事業の深化、②建設周辺事業の進化、③新たな事業領域の開拓、④経営基盤の強化を基本方針とする『熊谷組グループ　中期経営計画(2021～2023年度)～持続的成長への弛まぬ挑戦～』にグループ一丸となって取り組み、持続的成長への挑戦を続けてまいりました。

なお、2021年11月に、株主還元の拡充並びに資本効率の向上を図るため中期経営計画期間(2021～2023年度)に総額100億円規模の自己株式を取得する方針を決定しており、当該方針に基づき、最終年度となる当期も約20億円の自己株式の取得を実施しました。これにより、当期における総還元性向は91.6%となる見通しです。

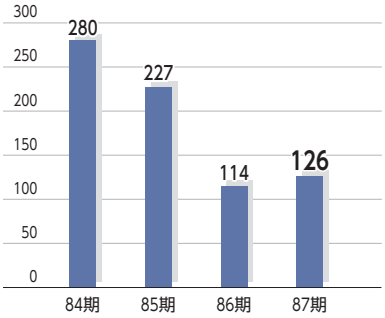
当連結会計年度における当社グループの連結業績につきましては、売上高は、手持ち工事の順調な消化により、前連結会計年度比9.8%増の4,431億円となりました。利益は、売上高の増加並び

連結業績ハイライト

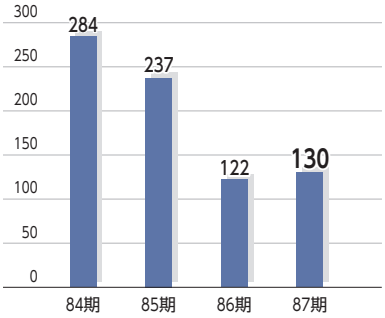
■売上高　(億円)



■営業利益　(億円)



■経常利益　(億円)



に土木事業及び子会社の売上総利益率の改善により、営業利益は126億円、経常利益は130億円となりました。また、法人税、住民税及び事業税等の計上などにより、親会社株主に帰属する当期純利益は83億円となりました。

対処すべき課題

今後の我が国経済は雇用・所得環境が改善する下で、政府の各種政策の効果により緩やかな回復が続くことが見込まれますが、世界的な金融引締めに伴う影響や中国経済の先行き懸念など、海外景気の下振れがリスクとして存在しています。さらに、中東地域をめぐる情勢など地政学的な問題が経済に与える影響にも十分留意する必要があります。

建設業界におきましては、民間企業の建設投資は企業収益の改善等を背景に底堅く推移すると思われます。また、公共投資については、2024年度予算は前年度とほぼ同水準が確保され、自然災害の激甚化・頻発化や社会インフラの老朽化など、人々の暮らしや産業の発展を支える基盤の持続性に大きな懸念が生じる中、防災・減災、国土強靱化への計画的な投資により引き続き堅調に推移すると予想されます。

一方で、原油高や建設資材高といった採算悪化や需要減退を招くリスク要因の動向を注視していく必要があります。

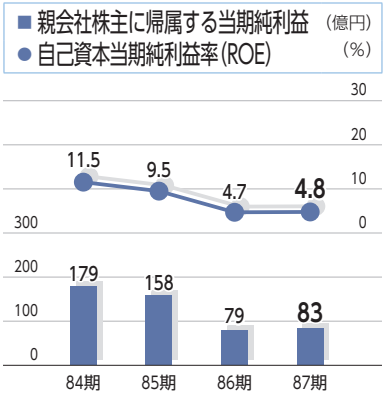
中期経営計画

当社グループは2024年度を初年度とする「中期経営計画(2024～2026年度)」を策定いたしました。今般策定した計画は、前「中期経営計画(2021～2023年度)」において掲げた「長期構想」を踏襲し、当社グループが目指す「限りある資源が循環し、ひと・社会・自然が豊かであり続ける社会」の実現に向けた取組みを示しており、「目指す将来の姿」として掲げていた2030年度の“連結経常利益500億円”を、改めて2035年度の長期構想上の目標としました。また、本計画のスローガンとして「持続的成長への新たな挑戦」を掲げ、①建設事業の強化、②周辺事業の加速、③経営基盤の充実を基本方針として、計画期間中の“連結経常利益300億円”を数値目標と定めました。

「北海道新幹線、羊蹄トンネル(有島)他」工事のコンクリート品質管理試験における虚偽報告について

2023年4月に当社を代表とする特定建設工事共同企業体が施工する「北海道新幹線、羊蹄トンネル(有島)他」工事における、コンクリート品質管理試験において、試験実施頻度に関する虚偽報告を行っていたことが判明しました。発注者様をはじめとするご関係の皆様に多大なるご迷惑をお掛けしたこと、誠に申し訳なく改めて深くお詫び申しあげます。本事案判明後、社長を委員長とする特任対策委員会を立ち上げ、経営から独立した法遵守監査委員会の監視・指導・勧告のもと、原因究明及び再発防止対策、当該コンクリートの健全性、他の工事における同様の不正の有無の調査を実施いたしました。この調査の結果、虚偽報告期間中に施工したコンクリートの健全性に問題はないことを確認するとともに、他の工事においても問題は確認されませんでした。また、原因究明のためのヒアリング等の結果、コンプライアンス意識の不足、品質管理に関する基本的認識の不足、作業所における報連相の不足、マネジメント能力の不足、品質管理体制の不備が当事案の主要因であることを確認し、これらの原因の分析・精査を踏まえ、役職員の教育の徹底、品質管理体制の強化及び作業所における諸問題の把握といった再発防止対策を講じ、これを実施しております。

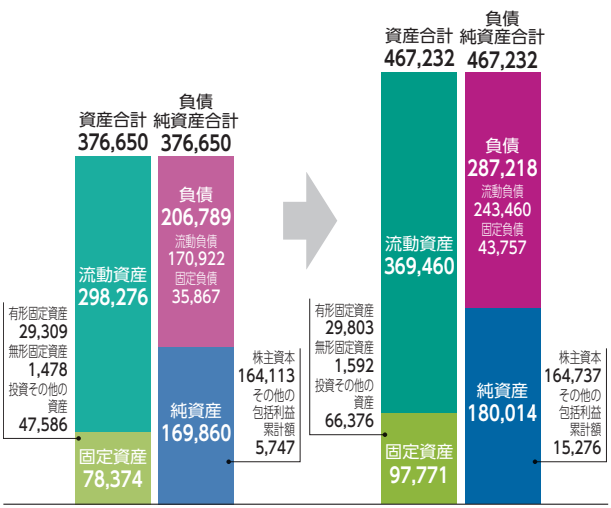
当社は「ものづくりの原点」に立ち返り、確かな品質こそが「信頼」の核であることを改めて認識し、信頼回復に向け不退転の決意をもって引き続き再発防止に取り組んでまいります。



連結財務情報（要約）

■連結貸借対照表の状況

（百万円）

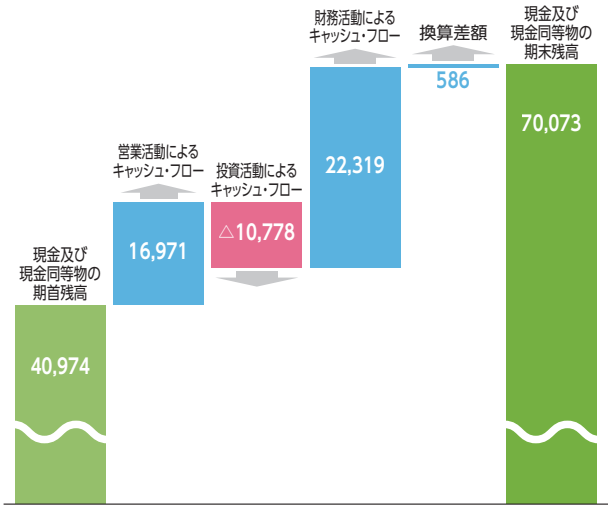


第86期
（2023年3月31日現在）

第87期
（2024年3月31日現在）

■連結キャッシュ・フロー計算書の状況

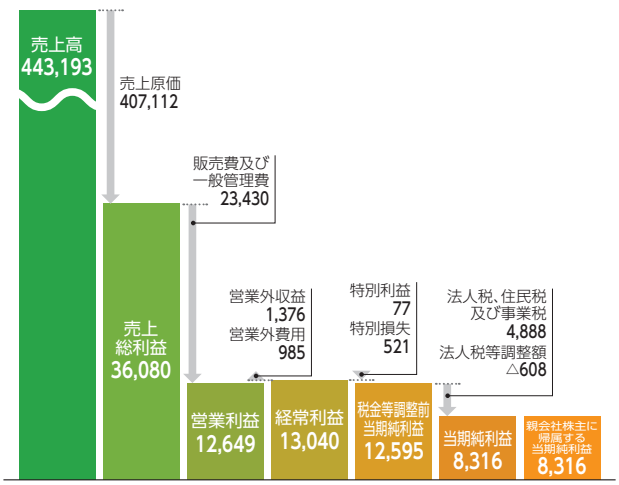
（百万円）



第87期
（2023年4月1日～2024年3月31日）

■連結損益計算書の状況

（百万円）



第87期
（2023年4月1日～2024年3月31日）

ポイント

■連結貸借対照表

総資産は前期比905億円増の4,672億円でした。これは新規の借入金による新規資金調達や当期受注の大型工事の着手金等による現金預金の増加、完成工事未収入金等の売掛債権の増加によるものです。また、純資産は保有上場株式の評価益等により、1,800億円となりました。自己資本比率は前期比6.6ポイント低下し、38.5%となっております。

■連結損益計算書

売上高は前期比396億円増の4,431億円となり、売上高の増加並びに土木事業及び子会社の売上総利益率の改善により、経常利益は130億円となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は法人税等の計上により83億円となりました。

■連結キャッシュ・フロー計算書

営業活動によるキャッシュ・フローは、未成工事受入金や仕入債務の増加等により、169億円のプラスとなりました。投資活動によるキャッシュ・フローは、関係会社への貸付金の増加や設備投資等により、107億円のマイナスとなりました。財務活動によるキャッシュ・フローは、コマーシャル・ペーパーの発行や借入金の増加等により、223億円のプラスとなりました。為替換算による増加を含め、現金及び現金同等物の当期末残高は前期末に比べ290億円増加し、700億円となりました。

単体の業績について

受注高は、前期比7.7％増の3,755億円となりました。このうち、土木工事は1,064億円、建築工事は2,691億円であり、これらの発注者別内訳は官庁23.7％、民間76.3％であります。

売上高は、同9.6％増の3,279億円となりました。このうち、土木工事は1,001億円、建築工事は2,277億円であり、これらの発注者別内訳は官庁25.5％、民間74.5％であります。

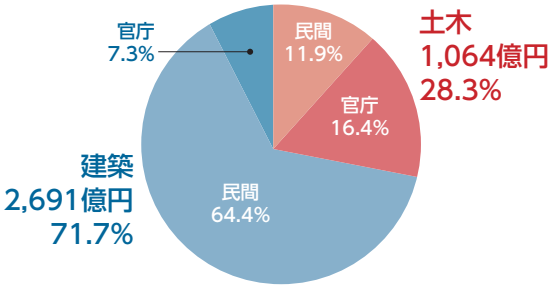
この結果、翌事業年度への繰越高は、同8.9％増の5,824億円となりました。

利益につきましては、経常利益は78億円、当期純利益は53億円となりました。

■損益等の状況

区　分	87期	前期比
受注高	3,755億円	(7.7%増)
売上高	3,279億円	(9.6%増)
繰越高	5,824億円	(8.9%増)
当期純利益	53億円	(24.1%減)

■受注高構成



主な受注工事

土木

- 古川雨水排水ポンプ場建設工事(23306)：秋田市
- 二枚田風力発電所建設工事：二枚田風力合同会社
- すさみ串本道路江住第一トンネル工事：国土交通省
- 瑞慶覧(R5)給水施設(4290)整備土木その他工事：防衛省

(仮称)北仲通北地区B-1地区計画新築工事

建築

- (仮称)北仲通北地区B-1地区計画新築工事：東急不動産株式会社・京浜急行電鉄株式会社・第一生命保険株式会社
- 千代田区三番町6計画新築工事：三菱地所レジデンス株式会社
- 日本歯科大学東京短期大学新築移転計画：学校法人日本歯科大学
- 三田駅前Cブロック地区第一種市街地再開発事業施設建築物新築等工事：三田駅前Cブロック地区市街地再開発組合

熊谷組グループ　中期経営計画（2024～2026年度）～持続的成長への新たな挑戦～（要旨）

前「中期経営計画（2021~2023年度）」において掲げた「長期構想」を踏襲し、

「限りある資源が循環し、ひと・社会・自然が豊かであり続ける社会」の実現へ

社会背景

- 人口減少・少子高齢化の影響による労働力の不足・国内需要の減少
- カーボンニュートラル実現に向けた社会的気運の一層の高まり
- ウクライナ戦争や米中対立、中東情勢など地政学的リスクの高まりによる景気の下振れリスクや物価動向の不透明感
- 官民連携した賃上げを始めとする所得環境の改善、企業の設備投資意欲の後押し等による民間需要主導の経済成長への期待

市場環境

- 首都圏エリアにおける一定規模の建設投資
- ストック増加を背景にした維持修繕関連市場の拡大
- 防災・減災、国土強靱化やインフラ大更新関連市場の拡大
- 国内建設投資は一定規模で横ばい
- 人口増が見込まれる海外地域における経済成長

建設事業者が取り組むべき課題

- 建設関連事業の推進
- 環境配慮型市場への取組み・技術開発
- 事業ポートフォリオの最適化
- 継続的な担い手確保

中期経営計画（2024 ～ 2026年度）のスローガン

持続的成長への“新たな挑戦”

熊谷組グループ　中期経営計画（2024～2026年度）～持続的成長への新たな挑戦～（要旨）

■事業戦略

基本方針1　建設事業の強化
コア事業である建設事業を強化し、収益性を高める

基本方針2　周辺事業の加速
成長領域と位置づける周辺事業を加速し、確固たる収益源を創出する

基本方針3　経営基盤の充実
経営を支える基盤を充実させ、事業推進の実効性を高める

■財務目標

連結売上高　：5,000億円（2027年３月期）
連結経常利益　：　300億円（2027年３月期）
ROE　：　10％以上（2027年３月期）
自己資本比率　：　45％程度　「財務健全性」と「資本効率」の両立
配当性向　：　40％目途　適正かつ安定的に利益還元していくことを基本方針とする

■住友林業との協業～今後の方針～

- 中大規模木造建築事業においては、協業で積み上げてきた知見や提案力および木造建築に関する住友林業のブランド力を活かし、さらなる受注拡大を目指す。
- 住友林業が得意とする海外不動産開発事業への継続投資、ならびに国内における環境配慮型不動産事業への参画を検討し、事業領域の拡大を目指す。

■経営基盤の充実

- 研究・技術開発
- 人財基盤
- DX

■ESG取組方針

重要課題（マテリアリティ）の改定と個別課題の見直しを実施

	重要課題（マテリアリティ）	個別課題	関連するSDGs
E	気候変動リスクへの対応	カーボンニュートラルの達成 再生可能エネルギー事業の強化	7 13 14 15
	環境に配慮した事業の推進	ゼロエミッションの達成 木造建築事業の強化　他	
S	多様な人財が能力を発揮できるウェルビーイングの実現	人財の確保と投資 技術の継承　他	3 4 5 8 9 11 17
	持続可能なコミュニティの実現	品質の確保と誠実なものづくりの推進 魅力あるまちづくり　他	
G	コーポレートガバナンスの強化	コンプライアンスの徹底 リスクマネジメントの強化　他	12 16 17
	マルチステークホルダーとの関係強化	CSの向上 サプライチェーンマネジメントの強化　他	

我が国の新幹線の歴史は長く、東海道新幹線の開業から59年の歳月が流れ、今日、その速達性、安全性、そして利便性の進化は目覚ましく、なかでも北陸新幹線は首都圏から上信越・北陸を経由し関西圏へとつなぐ新たなルートとして多くの期待と注目を集めています。

当社は、1997年の長野オリンピックの開催に先立って開業した「高崎～長野」間に施工した五里ヶ峰トンネルをはじめ、2015年開業の「長野～金沢」間で数多くの北陸新幹線関連工事に携わってきました。そして2024年3月に開業した「金沢～敦賀」間では、福井県内で3ヶ所の高架橋工事、トンネル工事及び駅舎の新築を担当し、そのうち芦原温泉駅高架橋他工事及び芦原温泉駅新築工事は、2022年11月に竣工しました。

芦原温泉駅高架橋他工事は、延長L=1,269m間に3つの高架橋を施工するもので、ラーメン高架橋、RC橋脚、RC桁、PC桁、PC箱桁、SRC桁、補助電区分所造成、コンクリートプラント設備工など、工事は多岐にわたりました。

さらに芦原温泉駅より金沢方面に向かう工区では、並走するJR北陸本線の上を交差する合成桁(山室Bi)も施工しました。営業線の近接での作業となり安全に配慮しての工事となりましたが、無災害で竣工を迎えることができました。

芦原温泉駅駅舎

乗降場

コンコース

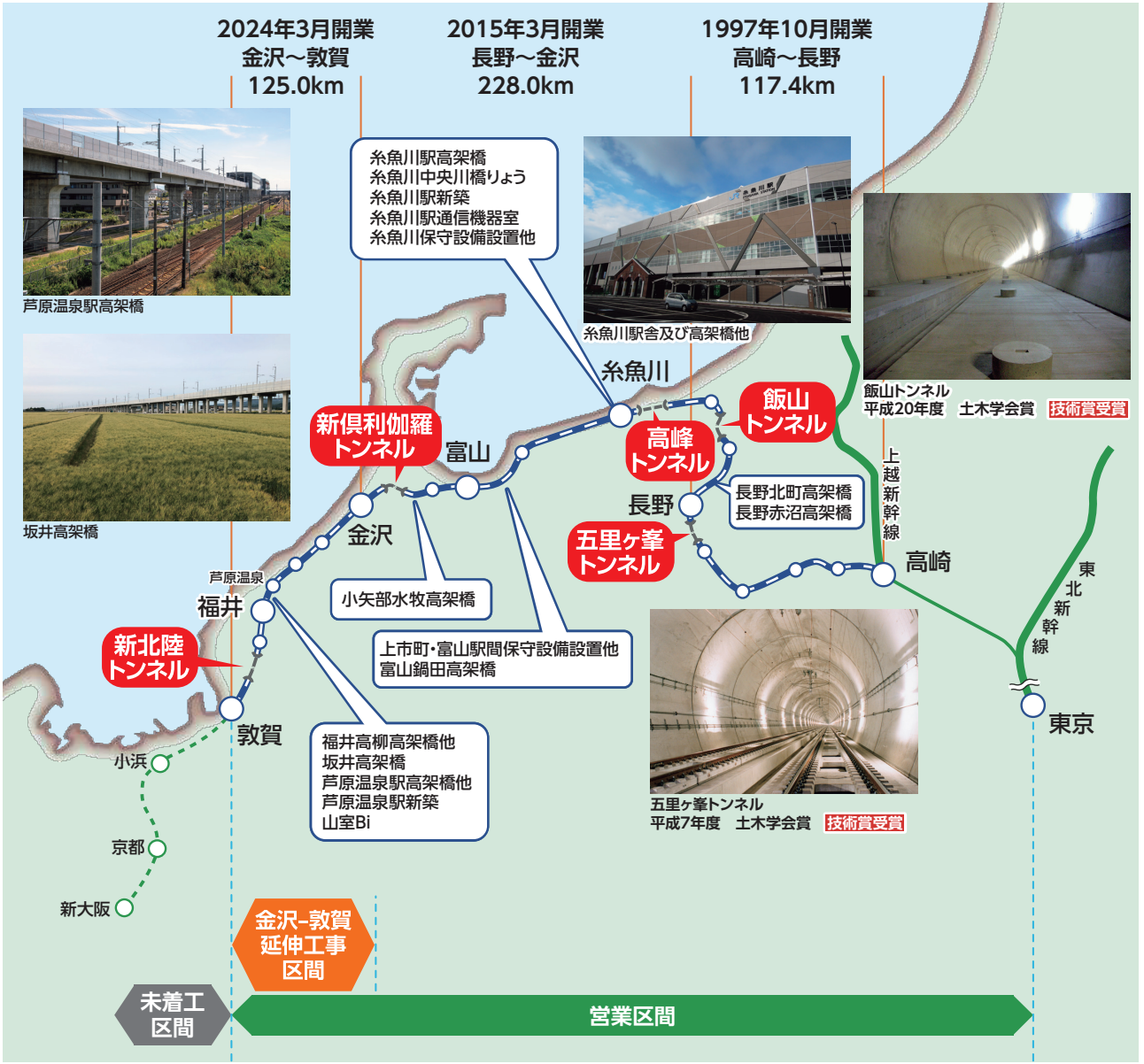
芦原温泉駅より金沢方面を望む（手前右が山室Bi）

また芦原温泉駅新築工事は、高架橋の上に駅舎を新設したものです。鉄骨造平屋建の3階乗降場(旅客上屋、6,610㎡)、2階コンコース(駅本屋、1,930㎡)、連絡通路(300㎡)、高架下施設(410㎡)等を建設しました。ホーム形式は相対式の2面2線であり、ホーム延長は312m、駅舎の高さは約27m、幅は約25mです。

「あわらの大地に湧き出る贅の駅」をデザインコンセプトとし、駅舎内には、あわら市をイメージさせるデザインや福井県産スギ材などが使用され、温泉街らしい和の趣ある空間となっています。

北陸新幹線の建設工事における当社施工区間の延長距離はトップレベルを誇り、発祥の地である福井県をはじめとする北陸地方に新たな足跡を残しました。

熊谷組の主な施工実績

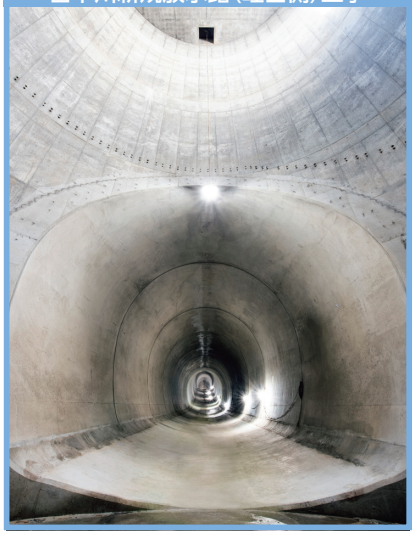

2024年3月開業
金沢～敦賀
125.0km
2015年3月開業
長野～金沢
228.0km
1997年10月開業
高崎～長野
117.4km
芦原温泉駅高架橋
坂井高架橋
糸魚川駅高架橋
糸魚川中央川橋りょう
糸魚川駅新築
糸魚川駅通信機器室
糸魚川保守設備設置他
糸魚川駅舎及び高架橋他
飯山トンネル
平成20年度　土木学会賞　技術賞受賞
糸魚川
飯山トンネル
新倶利伽羅トンネル
富山
高峰トンネル
長野北町高架橋
長野赤沼高架橋
長野
上越新幹線
金沢
五里ヶ峯トンネル
高崎
芦原温泉
福井
小矢部水牧高架橋
東北新幹線
新北陸トンネル
上市町・富山駅間保守設備設置他
富山鍋田高架橋
東京
敦賀
福井高柳高架橋他
坂井高架橋
芦原温泉駅高架橋他
芦原温泉駅新築
山室Bi
五里ヶ峯トンネル
平成7年度　土木学会賞　技術賞受賞
小浜
京都
新大阪
金沢–敦賀
延伸工事
区間
未着工
区間
営業区間

主な完成工事

H¹O芝公園

発注者：野村不動産株式会社
用　途：事務所　　所在地：東京都

平成３０－３２年度 日下川新規放水路（吐口側）工事



発注者：国土交通省
用　途：放水路　　所在地：高知県

群馬銀行池袋ビル

発注者：株式会社群馬銀行
用　途：事務所　　所在地：東京都

リビオタワー羽沢横浜国大

発注者：日鉄興和不動産株式会社・三菱地所レジデンス株式会社
用　途：住宅　　所在地：神奈川県

新濃尾（二期）農地防災事業新木津用水路 小牧東田中工区（その2）改修工事

発注者：農林水産省
用　途：農業用水路　　所在地：愛知県

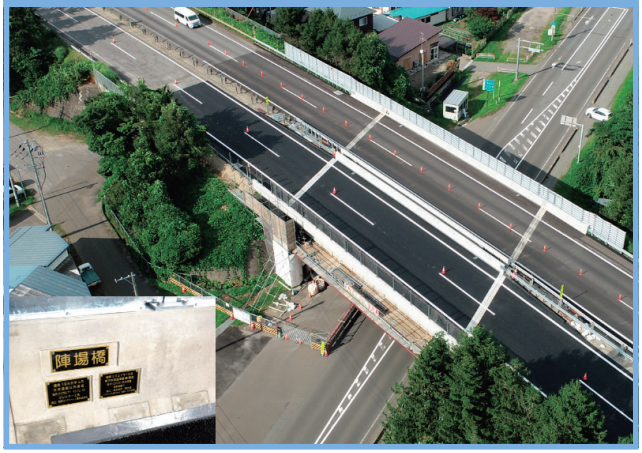
すさみ串本道路有田トンネル他工事

発注者：国土交通省
用　途：道路トンネル　　所在地：和歌山県

愛知学院大学　末盛キャンパス　臨床教育研究棟
愛知学院大学　末盛キャンパス　月見坂 Terrace

発注者：学校法人愛知学院
用　途：教育・研究・文化施設　　所在地：愛知県

東北自動車道　陣場橋床版修繕工事



発注者：東日本高速道路株式会社
用　途：高速道路(高規格幹線道路)　　所在地：秋田県

●ホームページのご案内
https://www.kumagaigumi.co.jp/

過去の施工実績について、当社ホームページにも掲載がございますので、ぜひご参照ください。

会社の概要

(2024年3月31日現在)

創　業	1898年1月
設　立	1938年1月
資本金	301億851万615円
従業員数	2,654名

主要な営業所 (2024年7月現在)

本　店
福井市中央2丁目6番8号
〒910-0006　TEL (0776) 21-2700

東京本社
東京都新宿区津久戸町2番1号
〒162-8557　TEL (03) 3260-2111

北海道支店	東北支店	首都圏支店	東京建築支店
名古屋支店	北陸支店	関西支店	中四国支店
四国支店	九州支店	沖縄支店	技術研究所

海外拠点
ベトナム、インドネシア、ミャンマー

グループ会社

株式会社ガイアート
ケーアンドイー株式会社
華熊営造股份有限公司
テクノス株式会社
株式会社ファテック
テクノスペース・クリエイツ株式会社
株式会社テクニカルサポート

取締役及び監査役 2024年6月27日現在

取締役会長	櫻野泰則	取締役	吉田　栄
取締役社長(代表取締役)	上田　真	取締役	岡田　茂
取締役(代表取締役)	岡市光司	取締役	桜木君枝
取締役	谷口弘恭	取締役	奈良正哉
取締役	小野哲男	常勤監査役	川野輪政浩
取締役	伊藤泰治	監査役	山田章雄
取締役	佐藤　建	監査役	上田美帆

(注) 取締役吉田栄、岡田茂、桜木君枝及び奈良正哉の各氏は社外取締役、監査役山田章雄及び上田美帆の両氏は社外監査役であります。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会　毎年3月31日 剰余金の配当　毎年3月31日 そのほか必要あるときは、あらかじめ公告して定めた日
単元株式数	100株
上場証券取引所	東京証券取引所
証券コード	1861
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同連絡先	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社　証券代行部
郵送先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社　証券代行部
電話照会先	0120-782-031
公告の方法	当社のホームページに掲載します。 <https://www.kumagaigumi.co.jp/> ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

表紙写真

工事名：北大阪急行線の延伸事業のうち土木工事
発注者：北大阪急行電鉄株式会社
用　途：一般鉄道　　所在地：大阪府

熊谷組
〒162-8557　東京都新宿区津久戸町2番1号
TEL (03) 3260-2111
https://www.kumagaigumi.co.jp/

UD FONT
FSC ミックス 紙 | 責任ある森林管理を支えています FSC® C022915 www.fsc.org
VEGETABLE OIL INK
見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。
この冊子は環境保全のため、植物油インキとFSC®認証紙を使用しています。